

匠下駄の商品化支援

大野アドバイザーによる支援

大阪府知的所有権センターに相談依頼があり、企業訪問をきっかけに支援を開始

実用新案権取得に向けたサポート

- 実用新案登録制度の概要説明
- 特許電子図書館(IPDL)を活用した先行技術調査方法の指導
- 先行技術文献の分析および比較支援
- 自社による実用新案登録出願の支援
- 強く広い権利取得に向けた出願戦略策定の支援

クリタ

弾力性のある素材を用いた健康的な下駄を開発

知的財産権で新技術・新製品を保護し、競争優位を確保したい！

伝統技術に知財で保護された自社技術を加えて信用力を高めたい！

特許情報活用による成果

自社手続きにより
実用新案登録出願 1件

実用新案登録第 3156506 号

日本の伝統美に最新の技術を融合させたオリジナル商品を開発

この支援によって開発・販売された商品

商品名「匠下駄(たくみげた)」

「匠下駄」は、下駄全体に弾力性のある素材を挟んでいますので、履き心地が良く、長時間履いていても痛くなりません。また、クッション性があるため疲れにくく、かかとも片減りしません。

ジーンズなどカジュアルな洋服にも合うデザインが特徴です。



支援先企業の概要

会社名 クリタ 代表者 栗田 博史
住所 大阪府大阪市天王寺区 創業 1852年(嘉永5年)
ホームページ <http://kuritahakimono.web.fc2.com/index.html>

大野 健造(大阪府知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

クリタは1852年(嘉永5年)8月に創業で、創業157年という歴史の下駄・履物の老舗です。「素材は全て日本のものを使用し、従来の手法と最新の技術を融合して「伝統美を創造することへの挑戦」が経営理念に掲げられています。

従来の木材で製作された履物には、足の裏に密着せず、返りも悪く、かかとは底ゴムが付いていても無くても片減りするという課題がありました。この点に着目し、下駄の足載せ台を上下に2つに分け、その間に弾力性の素材でなるクッション部も設ける下駄を考案されました。

今回はアイデアの創出から特許電子図書館(IPDL)を活用した先行技術調査、自社による実用新案出願のご支援をし、登録に至りました。「匠下駄」の商品名で販売されています。日本の履物の伝統美を新技術で継承して頂ければと期待しております。



平成 22 年 1 月現在